

大阪府景気観測調査結果

平成27年7～9月期

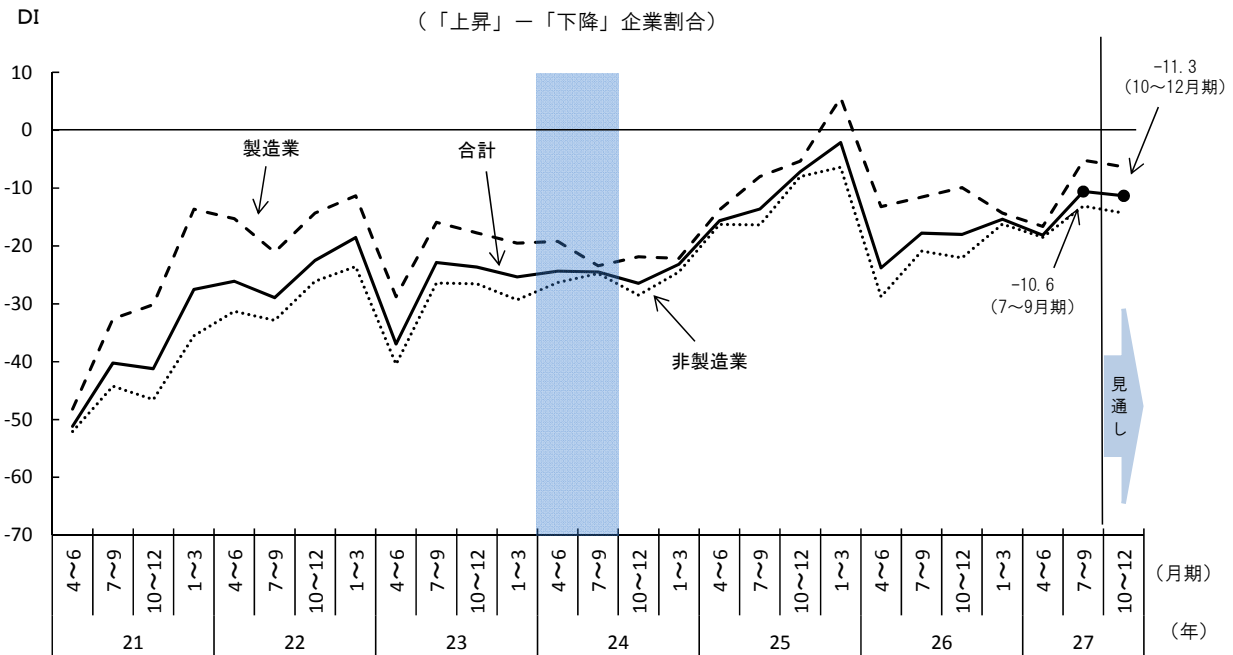
《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。 <http://www.pref.osaka.lg.jp/aid/sangyou/keikikansoku.html> 》

商工労働部（大阪産業経済リサーチセンター）では、府内企業を対象として四半期毎に、大阪市と協力して景気観測調査を実施しております。平成27年7～9月期の調査結果の概要は次のとおりです。

[景気は、緩やかな回復基調に戻るも、先行きに不透明感がみられる]

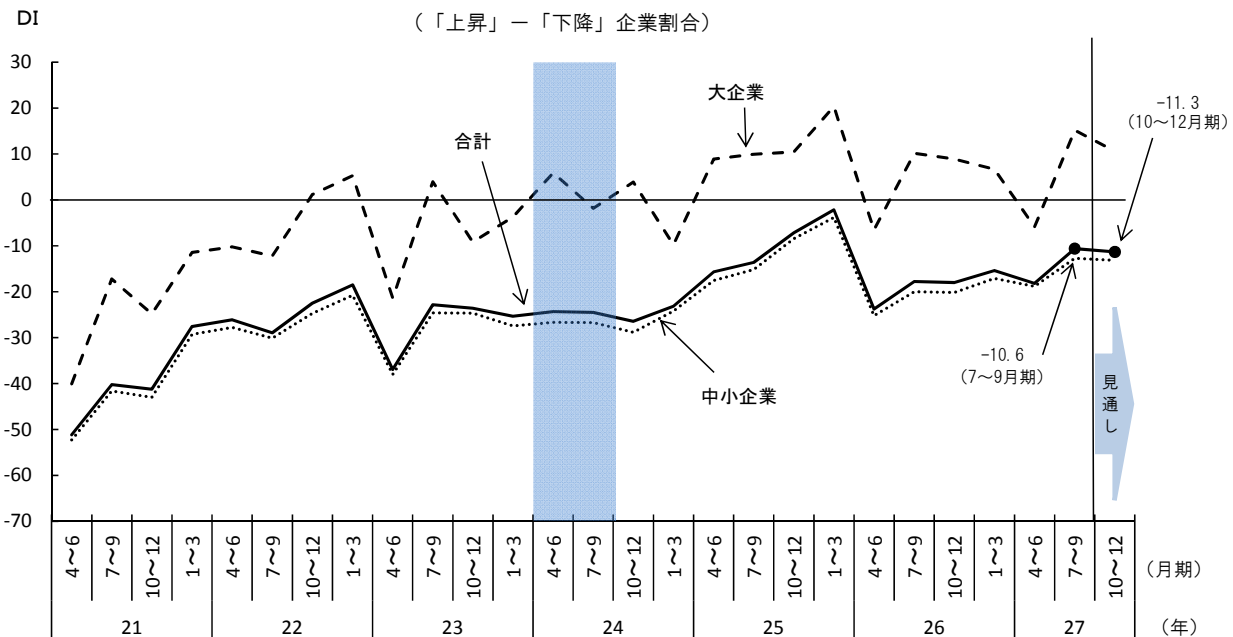
1. 今期の業況判断DIは大企業を中心に改善し、景気は再び回復のペースを持ち直した。

業況判断DIの推移（前期比、季節調整済、製造業・非製造業別）
（「上昇」－「下降」企業割合）



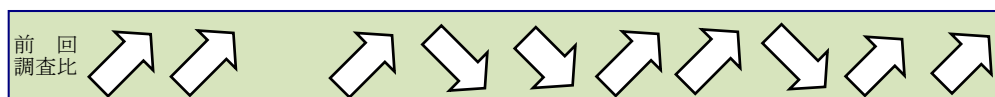
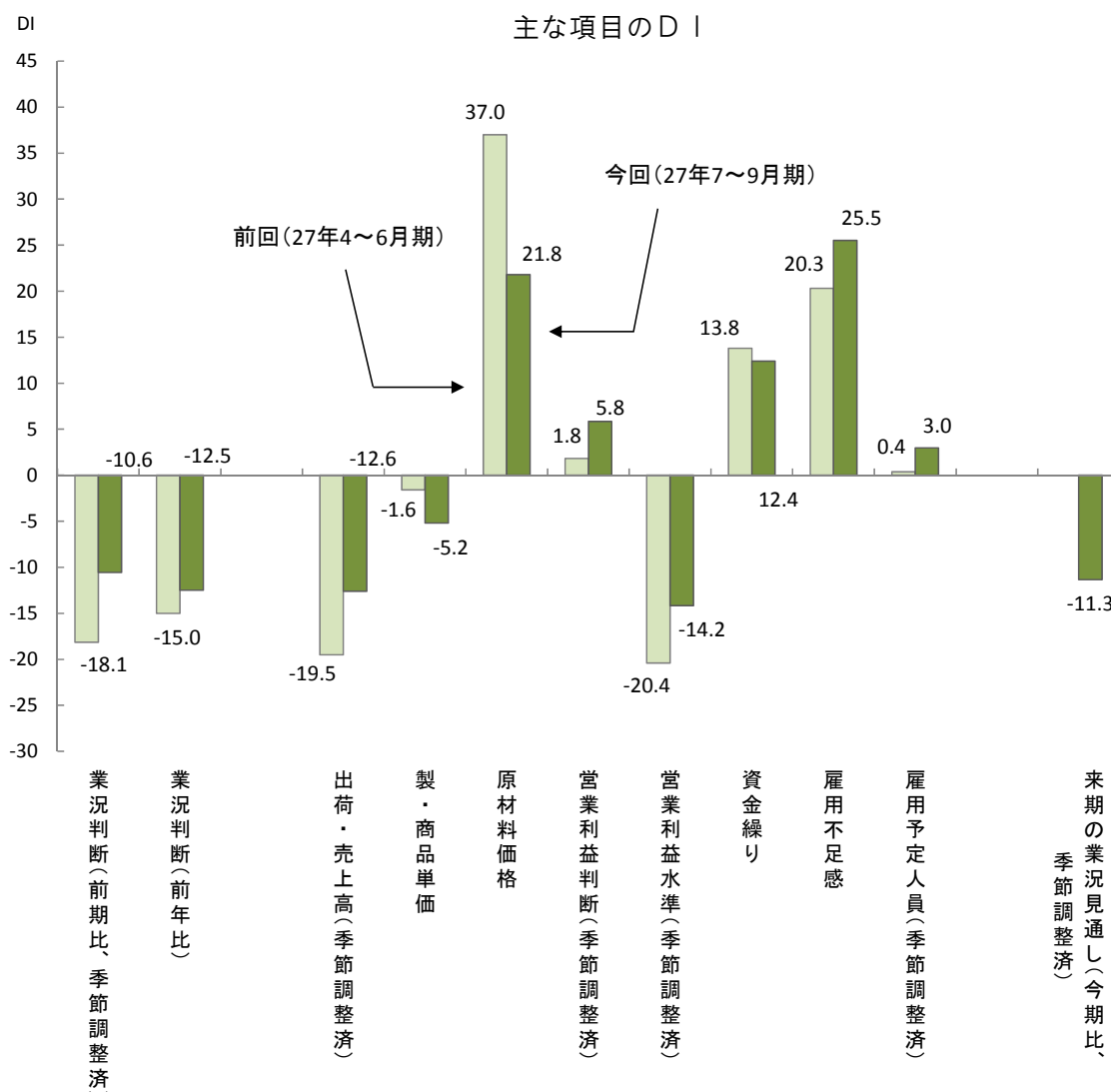
※シャドー部分は大阪産業経済リサーチセンターが設定した景気後退期を示す。

業況判断DIの推移（前期比、季節調整済、大企業・中小企業別）
（「上昇」－「下降」企業割合）



※シャドー部分は大阪産業経済リサーチセンターが設定した景気後退期を示す。

2. 主な項目のD Iをみると、製・商品単価は製造業の2期連続の悪化などで下落、資金繰りD Iも3期ぶりにプラス幅が縮小し、設備投資も慎重姿勢が続くものの、出荷・売上高、営業利益水準D Iは大企業や製造業を中心に改善がみられ、前々回調査までの緩やかな回復基調に戻った。雇用面では、不足感が再び強まり、来期も増加超の割合が拡大する見込みである。



3. 27年10～12月期の業況D Iは、大企業を中心に下落する見込み。

業況判断D Iの推移

年 月 期	25				26				27		
	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12
製造業	-13.7	-8.0	-5.3	5.6	-13.2	-11.5	-9.9	-14.3	-16.6	-5.2	-6.3
非製造業	-16.3	-16.4	-8.0	-6.4	-28.8	-20.9	-22.0	-16.2	-18.5	-13.1	-14.3
大企業	8.9	9.9	10.5	20.4	-6.5	10.2	8.9	6.7	-5.9	15.2	10.6
中小企業	-17.5	-15.1	-8.4	-3.8	-25.2	-20.0	-20.2	-17.1	-18.8	-12.7	-13.2
合計	-15.7	-13.6	-7.2	-2.1	-23.8	-17.8	-18.0	-15.4	-18.1	-10.6	-11.3

来期
見通し